



## 2021年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月7日

上場会社名 フロイント産業株式会社  
 コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏島 巖  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 若井 正雄  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6890-0750

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	3,076	6.9	165		154		121	
2020年2月期第1四半期	2,878	40.6	214		217		158	

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 164百万円 ( %) 2020年2月期第1四半期 192百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	7.28	
2020年2月期第1四半期	9.44	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第1四半期	17,706	12,744	72.0	761.14
2020年2月期	18,505	13,243	71.6	790.94

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 12,744百万円 2020年2月期 13,243百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		20.00	20.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年2月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	6.1	1,000	79.1	1,000	71.6	700	83.5	41.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	18,400,000 株	2020年2月期	18,400,000 株
期末自己株式数	2021年2月期1Q	1,655,480 株	2020年2月期	1,655,480 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	16,744,520 株	2020年2月期1Q	16,744,520 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外で新型コロナウイルスの感染が拡大する中、緊急事態宣言による事業者への営業自粛要請や個人の外出自粛により、個人消費が大幅に落ち込んだことに加え、輸出も大幅に減少する等、大きな減速を余儀なくされました。5月25日の緊急事態宣言全面解除により、足元では経済活動再開の動きがみられておりますが、感染拡大第2波への警戒から、経済活動の全面再開は依然見通せない状況にあります。

また、世界経済については、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と、その抑止のための厳格な措置により、各国の経済活動が大幅に縮小しており、そのマイナスインパクトは未曾有のものとなっています。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などへの対応を迫られております。また、ジェネリック市場においても、政府が進めてきた普及促進策の効果が一巡し、成長が鈍化することが予想されています。

このような事業環境のもと、当社グループは、当期2021年2月期を初年度とする第8次中期経営計画(2021年2月期～2023年2月期)をスタートし、お客様、新製品、グローバル、成長などをキーワードに新しく以下の7つの経営目標を掲げました。

- ①グループ連携
- ②完全顧客視点
- ③イノベーション重視
- ④グローバル経営
- ⑤成長戦略の実行
- ⑥業務改革と働き方改革の推進
- ⑦コンプライアンス／コーポレートガバナンスの重視

この経営目標を推進することにより、個別の市場環境に影響されにくい経営体質を構築し、当期は、連結売上高178億円、連結営業利益10億円の達成を目指して、グループ一丸となって活動しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は30億76百万円(前年同期比6.9%増)、営業損失は1億65百万円(前年同期は2億14百万円の営業損失)、経常損失は1億54百万円(前年同期は2億17百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億21百万円(前年同期は1億58百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、前年より売上高は増加したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により出荷の遅れが発生していること、及び、米国子会社FREUND-VECTOR CORPORATION、本邦子会社フロイント・ターボ株式会社ともに装置の納期が下期に偏重する傾向があることから、固定費を吸収するまでには至らず、営業損失計上となりました。

この結果、売上高は16億89百万円(同21.9%増)、セグメント損失は1億25百万円(前年同期は2億67百万円のセグメント損失)となりました。

#### ・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される医薬品添加剤は、一部の製品について納入時期が第2四半期以降にずれ込んだ影響もあり、売上高、営業利益ともに減少となりました。

また、食品品質保持剤は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためテーマパークやデパートの営業自粛により、お菓子の売上が低迷した影響を受け、売上高、営業利益とも減少となりました。

この結果、売上高は13億86百万円(同7.1%減)、セグメント利益は77百万円(同58.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億99百万円減少し、177億6百万円となりました。増減の主な要因は、現金及び預金が3億92百万円、仕掛品が1億52百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が11億94百万円、商品及び製品が33百万円、電子記録債権29百万円減少したことによるものであります。

また、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億円減少し、49億61百万円となりました。増減の主な要因は、長期借入金が2億30百万円、前受金が1億59百万円、賞与引当金が1億2百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が6億15百万円、電子記録債務が1億59百万円、短期借入金が32百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億99百万円減少し、127億44百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が4億56百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2020年4月24日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,314,123	4,707,055
受取手形及び売掛金	5,013,789	3,819,487
電子記録債権	417,513	387,884
商品及び製品	647,754	614,055
仕掛品	1,390,426	1,542,974
原材料及び貯蔵品	1,013,444	1,004,754
前払費用	139,944	133,845
その他	261,804	134,005
貸倒引当金	△5,471	△5,376
流動資産合計	13,193,328	12,338,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,418,559	1,440,960
土地	1,231,252	1,230,900
その他（純額）	1,560,069	1,520,367
有形固定資産合計	4,209,880	4,192,228
無形固定資産		
ソフトウェア	19,811	19,200
その他	76,270	73,770
無形固定資産合計	96,081	92,970
投資その他の資産		
繰延税金資産	208,497	257,084
その他	802,939	830,648
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	1,006,036	1,082,333
固定資産合計	5,311,999	5,367,532
資産合計	18,505,327	17,706,219
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,754,324	1,138,691
電子記録債務	1,367,537	1,208,139
短期借入金	32,829	—
未払法人税等	61,729	29,528
前受金	775,289	935,211
賞与引当金	237,693	340,175
役員賞与引当金	6,000	7,500
その他	788,516	824,266
流動負債合計	5,023,920	4,483,513
固定負債		
長期借入金	—	230,426
退職給付に係る負債	165,114	162,948
資産除去債務	31,683	46,391
その他	40,661	38,092
固定負債合計	237,458	477,858
負債合計	5,261,378	4,961,371

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	11,964,299	11,507,569
自己株式	△773,363	△773,363
株主資本合計	13,516,050	13,059,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,680	18,239
為替換算調整勘定	△298,749	△345,417
退職給付に係る調整累計額	12,967	12,705
その他の包括利益累計額合計	△272,101	△314,472
純資産合計	13,243,948	12,744,848
負債純資産合計	18,505,327	17,706,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	2,878,390	3,076,175
売上原価	1,830,603	2,130,359
売上総利益	1,047,786	945,815
販売費及び一般管理費	1,262,594	1,111,740
営業損失(△)	△214,808	△165,924
営業外収益		
受取利息	2,190	154
受取配当金	4,783	4,101
受取技術料	1,219	2,819
受取補償金	—	3,183
その他	3,170	3,118
営業外収益合計	11,364	13,377
営業外費用		
支払利息	3,091	190
為替差損	5,675	2,067
その他	5,145	123
営業外費用合計	13,913	2,381
経常損失(△)	△217,357	△154,928
特別利益		
固定資産売却益	8,180	—
特別利益合計	8,180	—
特別損失		
減損損失	95	—
固定資産除却損	7	232
投資有価証券評価損	825	—
特別損失合計	927	232
税金等調整前四半期純損失(△)	△210,104	△155,161
法人税等	△52,065	△33,321
四半期純損失(△)	△158,038	△121,839
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△158,038	△121,839



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純損失(△)	△158,038	△121,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,917	4,559
為替換算調整勘定	△28,160	△46,668
退職給付に係る調整額	△284	△261
その他の包括利益合計	△34,362	△42,370
四半期包括利益	△192,401	△164,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△192,401	△164,210

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大により、機械部門においては装置の出荷の遅れ、化成品部門のうち品質保持剤事業においては、テーマパークやデパートの営業自粛を受けたお菓子等の販売低迷による売上減少の影響を受けております。

今後、新型コロナウイルス感染症による影響は、2021年2月期末に向けて徐々に収束に向かうとの仮定のもと、固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,386,636	1,491,753	2,878,390	—	2,878,390
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,386,636	1,491,753	2,878,390	—	2,878,390
セグメント利益又は損失(△)	△267,263	187,563	△79,700	△135,107	△214,808

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△135,107千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「機械」セグメントにおいて、固定資産に係る減損損失95千円を計上しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	米国	中南米	欧州	その他	計
2,348,108	233,691	67,280	108,437	120,872	2,878,390

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) 中南米……………ブラジル等

(2) 欧州 ……………フランス、英国等

(3) その他……………アジア等

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,689,928	1,386,247	3,076,175	—	3,076,175
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,689,928	1,386,247	3,076,175	—	3,076,175
セグメント利益又は損失(△)	△125,388	77,925	△47,462	△118,461	△165,924

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△118,461千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	米国	中南米	欧州	その他	計
2,685,463	158,363	28,775	54,107	149,466	3,076,175

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 中南米……………ブラジル等
- (2) 欧州 ……………フランス、英国等
- (3) その他……………アジア等

### 3. その他

#### 受注及び販売の状況

##### (1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	2,583,632	101.2	3,268,876	126.5

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。  
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

##### (2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	6,657,884	135.1	6,295,241	94.6

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。  
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

##### (3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	1,386,636	48.2	1,689,928	54.9
化成品部門	1,491,753	51.8	1,386,247	45.1
合計	2,878,390	100.0	3,076,175	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。